

沖縄の地域資源の活用・沖縄生まれのおすすめ商品

宮古島より

美と健康の観光プログラムを提案

宮古型ヘルスツーリズム

活用した地域資源

沖縄のビーチ、沖縄の音楽、沖縄の伝統舞踊、沖縄島野菜畑、沖縄島野菜

事業概要

宮古島の観光産業は失礼ながら県内では後進地域という印象がいまもない。しかしそれゆえ沖縄の原風景が多く、真の癒しを求める人が訪れている。現在、観光は観て廻るから体験型や生活型に変わっており宮古島の状況も同様である。ここ宮古倶楽部ではそういう観光客のために体験型観光の開発に取り組んでいる。

生産者インタビュー

宮古倶楽部の詳細をお教え下さい。

当社は平成16年に那覇市で第2種旅行代理業として創業し平成20年に宮古島へ本社を移しました。宮古島の観光客の受け入れ業務を中心に事業を展開しています。

平成18年には宮古島市と共同開発による「エコアイランド宮古島視察ツアー（エコ関連施設の視察による環境学習ツアー）」という産業観光にも取り組んでいます。

今回のようなツアーを開発しているのでしょうか？

宮古島は観光産業では沖縄本島や石垣島に一步遅れをとっています。しかし、宮古島には手付かずの自然や独特の文化、沖縄の原風景などがあり逆に観光地化してないところが癒しを求める沖縄ファンに好評を頂いています。

私達は、その自然や文化を宮古島の資源として有効に活用して観光商

品の提案を行なっています。例えば、現在の観光のスタイルの変化（周遊型から体験・生活型への変化）を参考にした宮古島の文化体験ツアーや医療、運動、食事等を組み込んだ宮古型ヘルスツーリズム観光商品です。具体的には医療・運動・食事などそれぞれの専門家のレクチャーを受けるなど、一貫したプログラム構成になっています。

また、農業体験、芸能体験プログラム等を含め、無理なく宮古島の観光資源も楽しめる構成を提案しています。今は大手エージェンツや旅行代理店と連携しながら販売ルートを確認していますが、後々は自社での観光プログラムの販売を目指しています。

宮古島観光産業について何かお考えがあるのですか？

宮古島では官民一体となった観光への取り組みが必要です。

道路や施設などのインフラ整備（ハード）の面と人材育成や情報発信（ソフト）の面、お互いが役割を分担し上手く噛み合えば石垣島や沖縄本島にだって負けない魅力ある観光地になるはず

です。

今後の取り組みをお教え下さい。

そうですね、宮古島はまだ宿泊施設が少ないので拡大していきたいという希望があります。ただホテルを建てるのではなく民泊等を増やして地元の人と観光客の交流をふやしたいですね。

また、自社にて宮古島だけの情報雑誌と観光HPを作りたいです。

宮古島は沖縄の観光地としては出遅れた感があるがこの宮古倶楽部の取り組みにより石垣島や沖縄本島に並ぶ観光地になるかもしれない。



有限会社 シンプロ(宮古旅倶楽部)
代表取締役 粟国正博さん



宮古島「西平名崎」風景

有限会社 シンプロ(宮古旅倶楽部)
〒906-0013 沖縄県宮古島市平良字下里4-103
TEL 0980-75-4380 FAX 0980-75-4382
http://www.miyatabi.com



宮古島「池間大橋」風景